

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/08/08 Vol. 105 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX
45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 14 年第 2 回定例会報告 (6)

いつもお世話になっております。印西市議会(6月定例会)は、21日(金曜日)で閉会しました。6月議会での私の一般質問と市当局の回答を中心にご報告をさせていただきます。

6/7(金曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

3. 牧の原駅圏の将来について

(3) 市では、牧の原駅圏の住民ニーズを具体的にどのように現在とらえて、今後いつまでにどのような対策を講じて行くのか？

(回答/市長)「牧の原駅圏の住民ニーズを具体的にどのように現在とらえて、今後、いつまでにどのような対策を講じていくのか」についてお答えいたします。牧の原駅圏の活性化をはじめとする各種の問題につきましては、これまでもいろいろとご指摘をいただいているところでございます。平成12年度に実施いたしました「印西市市民意識調査」で、日常生活環境を19の項目にわけ、それぞれの満足度評価を尋ねたところ、西の原、原地区におきましては、「公園や広場など」「緑地や景観」、「下水道、排水溝などの整備状況」などの項目で、市全体の満足度より高い数字を示しておりますが、「通勤通学などの交通の便」、「銀行・郵便局や役所などの公共機関」、「診療所や病院など医療機関」などの項目で、市全体の満足度より低い数字を示しております。また、今後力を入れるべき施設として、この地区では「交通機関の整備充実」、「高等学校、大学の誘致」、「病院等医療施設の誘致」、「防犯灯の整備充実」、「魅力ある商店街づくり」などの項目が挙げられています。牧の原駅圏は、平成6年にまち開きが行われましたが、入居状況をみても、平成14年2月現在で、その入居率は20.2%(ぐんじ注/入居計画に対して)に留まっているのが現状でございます。そのようなことから、抜本的な対策が必要と言う事で、先程申し上げた(仮称)牧の原駅圏活性化研究会の設置が検討されているところでございます。この研究会では、民間による具体的な事業手法についても視野にいたした研究が行われ、それに沿った事業展開を行うこととしておりますので、その中で、牧の原駅圏での新たなまちづくりの観点からも、居住者の声が反映されるよう要請して参りたいと考えております。

<ぐんじとしのりからの再質問>

* 具体的になく、回答がよくわからない。

「牧の原駅南側大型商業施設」「郵便局」の誘致の現状はどのようになっているのか？

(回答/総務部長)南側商業施設については、昨年3月までに正式契約をと言われて、1年以上経つわけですが、その後、新聞報道や一部業界紙等による断片的な情報はありますが、正式な話は、「契約に向けて努力しているが、いましばらくお待ちください」ということです。郵便局についても数年来にわたり、利便施設として必要だということで、市長をはじめ努力しているが、現在、郵政事業の民営化という話がでてきて、新住事業者においても関東郵政局を通じて特定郵便局の働きかけを継続しているが、やはり「民営化」という話が壁になって、現在のところ新設については慎重であるとのこと。しかし、やはり利便施設であるので、機会あるごとに利便施設から早期に設置をお願いしております。

* ぐんじ補足/「464号線沿いの街灯設置について」は市長名で、都市基盤整備公団の千葉ニュータウン事業本部長宛に6月17日付けで整備要望を提出しました。

「市町村合併」どう考える？(3)

6月19日に近隣の5自治体の正副議長が集まり、懇談会が開催されました。今回、会議の要約を入手いたしましたので、今、話題の「市町村合併」についての5自治体の意見を抜粋して、ご紹介します。

白井市 / 職員が研究グループをつくり報告書を作成した。議員は24人全員による特別委員会を結成、更にそのなかで3つの分科会を設けた。また、市長は、地区懇談会を行い、その感触では、5万人の街においては合併なしではすまないだろうという考えである。しかし、議会としても、まだまだ意見の集約ができていないため、これから特別委員会を行っていく。

本埜村 / 村長は、法定協議会を立ち上げなくてはならないと言っている。住民は合併してもしょうがないという意見がある反面、滝野地区は独自でもいいから合併したいという考えをもっているようだ。

印旛村 / 合併の気運は全く思い当たっていないが、ただそれをやらなければということで役場の中で研究会を立ち上げてその報告を受けた。議員のなかでは、佐倉市の呼びかけで何人が説明会にいった人もいるが、まだ議会そのもので合併を考えているということはやっていないのが現状である。

栄町 / 6月定例会中の全員協議会で研究会を立ち上げようという話が起った。理由は、議員個々の合併に関しての認識、知識を持つこと。議会が調査、研究したことを随時、町民の皆さんに情報発信すること。つまり、住民・議会・役所がある程度の共通認識の中で決断ができるような環境をつくろうではないかという目的である。栄町は、千葉県案で、この5市町村の他成田中心の8市町村でという2つの案も出ているので、どうやるかという判断の中では並行に進めて行かなければならない。

印西市 / 市長が合併は検討せざるを得ないだろうと言っている。一番理想的な姿は、2市1町2村である。(ぐんじ注 / 市長の考えであり、印西市議会の統一見解ではありません。)

白井市 / し尿処理は鎌ヶ谷・沼南とやっているが、消防・ゴミ関係は印旛地区で行っている。現実には、ニュータウンの新しい住民はわからないが、今までの白井市の歴史からいうと印旛郡がバックにあって、新住法のくくりで千葉ニュータウンがあり、一つでセットになっているようなまちづくりをしているので、こちらとくっついた方が自然かなと思っている。ただし、経済的なことから東葛と合併という人がなかにはいる。

本埜村 / 合併は特例債があるのが魅力なだけではないか。本埜村長はパフォーマンスで一生懸命進んでいる。進んでいると言って合併ありきで経済危機や特例債のことをしきりに言う。但し、具体的にどこを合併するのだという質問に関しては何も答えない。本埜村の財政力指数や今の置かれている状況からいうと合併せざるを得ないというのが本音だ。具体的には、印西とくっついてその他の町村とどのような形でくっつくのかということだと思う。

印旛村 / 住民が合併によってどれだけのメリットがあり、どういうことが大事だというのが問題ではないか。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も6月議会のご報告を中心にご連絡させていただきます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。よろしく願い申し上げます。
ぐんじとしのり